

2023年6月2日の大雨における 雨山ダムの洪水調節の効果について

雨山ダム（愛知県岡崎市）では、6月2日（金曜日）の10時30分から6月3日（土曜日）の1時50分にかけて、洪水調節を行いました。

ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダムへの流入が最大となった時にダム下流へ流す水量を約2割低減しました。

これにより、ダム下流河川へ流れる水量を低減しました。

1 ダム地点の洪水調節実績

(1) 降雨の状況

総雨量 415mm(6月1日 23時40分～6月3日 2時10分)
最大時間雨量 45mm (6月2日 10時00分～11時00分)

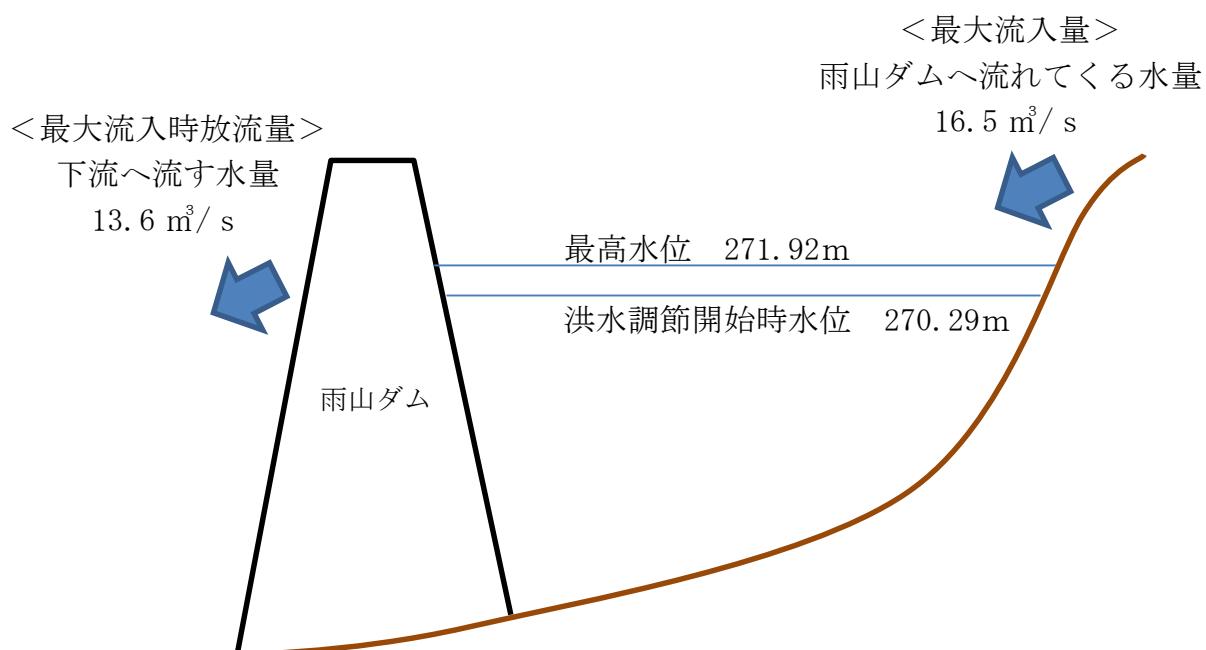
(2) 洪水調節の状況

最大流入量 16.5 m^3/s (6月2日 21時00分)
最大流入時放流量 13.6 m^3/s (6月2日 21時00分)
調節流量 2.9 m^3/s

(参考) 2番目に大きな流入量時には、16.0 m^3/s の流入量を10.4 m^3/s に調節。約4割低減。

※観測値は暫定値のため、確定値ではありません。

2 状況図



3 雨山ダムについて

雨山ダムは、雨山川に建設された、洪水調節、流水の正常な機能の維持及び水道用水の供給という3つの目的をもつ多目的ダムです。

常用洪水吐きは、オリフィスによる自然調節方式です。

ダム位置：愛知県岡崎市雨山町地内

河川名：一級河川 矢作川水系 雨山川

堤高（ダム高）：21.5m

総貯水容量：251,000 m³

